



令和2年度 十和田市立三本木小学校 学校だより 令和2年10月1日(木)

杉の子

No. 8

文責：校長

十和田市東三番町36-1
TEL 23-7178
特別支援教育センター
TEL 23-9553



頼もしい子供たち

校長 江渡 準 悦

9月16日に「学年体育フェスティバル」を行いました。前日の断続的な豪雨により、グラウンドを整備し終えては雨、整備し終えては雨、雨、雨となり、開催が危ぶまれましたが、当日は秋晴れの中、大変よい条件のもとで行うことができました。

例年のような活気に満ち溢れた運動会に変わるものは他にはありませんが、今回の体育フェスティバルに変わるものもない。そう思えるくらい、いい行事であったと思っています。本来であれば土日のいずれかに行い、多くの方々にご覧頂きたかったのですが、本校の規模では密集や密接を避けられないため、平日の開催となったことを改めてお詫びいたします。

さて、今回の体育フェスティバルで、子供たちの大きな大きな成長を感じ取ることができました。

低学年の子供たちは、当日を本当に楽しみにしていたようです。ある学級では、朝の健康観察時の「はい。元気です！」の代わりに、誰かが「今日の体育フェスティバルが楽しみです！！」と言うと、次々に同じ台詞が続いて朝から大盛り上がりだったそうです。開催後の振り返りには、「またこんな事があつたら、もっともっと頑張りたい。」といった感想が見られました。

また、今回の体育フェスティバル成功の鍵は、『つなぐ』という言葉が当てはまるのではと考えています。2年生は1年生に「表現ダンス『♪紅蓮華』の格好いい踊り方の姿」をつなぐ。4年生は3年生に「表現『♪三本木小唄』の美しい舞いの姿」をつなぐ。そして、6年生は5年生に「表現『♪よさこいソーラン』の勇壮な舞いの姿」をつなぐ。まさにこの『つなぐ』が、今回のフェスティバルの成功の原動力であったと思っています。

6年生のある児童は「三小の伝統を守るには『つなげたい』という気持ちが必要だ。」と述べていましたが、まさにその通りだと思っています。そして、その6年生の「よさこい」や「エンディングの言葉」を見聞きした5年生の中には、「来年の運動会は6年生の想いを受け継ぎ、今度は自分たちの力で運動会を動かし、盛り上げたい。」といった考えを持った子供たちがたくさんいました。

昨年度末からのコロナ禍は、毎日の授業や様々な行事を普通に行っていた頃には見えなかった課題を浮き彫りにしました。それと同時に、私たちに今までのやり方の変革を迫ってきました。

そのような中であっても、子供たちは今回の体育フェスティバルを通して、多くの事を学び、経験し、深く考え、心身共に成長しました。ある子供の感想には、

いつもの運動会ではなかったけど、コロナだからこそ、いつもより感謝の気持ちを伝えられたと思いました。

とありました。まさにこれが、私たち三本木小学校が目指す教育の姿です。

『コロナだったからこそ、得られることがあった。』と言える、本校ならではの教育活動をこれからも進めて参りたいと思います。

環境整備作業への御協力、ありがとうございました。

9月5日(土),PTA環境委員会の方々を中心に、保護者と職員を合わせた72名と十数名の子供たちで、環境整備作業を行いました。

校舎内ではトイレや水飲み場などを、校舎外では側溝の泥上げやグラウンドに生えた苔を取る作業を行いました。おかげさまで、きれいに整った環境の中で、子供たちは学習することができています。御協力ありがとうございました。



「夏休みの思い出と2学期頑張りたいこと」

少し前のことですが、9月初旬の杉の子集会で、各学年の代表による発表を校内放送にて行いました。代表の児童からは、夏休みの思い出と2学期の目標について、ご覧の内容(概要)が発表されました。どの児童も自分が伝えたいことをしっかりと発表していました。

十和田市長さん、十和田警察署長さん

そして、東中生JUMPチームの皆さんと「元気におはよう！」

9月10日(木),生活委員会の児童が、東中学校の生徒と一緒に本校の玄関前であいさつ運動を行いました。この活動は毎年行っているもので、小学校と中学校の連携活動の一貫として行われています。

今年度はこのことに加え、青少年育成十和田市民会議の「あいさつ運動交流会」の方々と、総勢約100名による活動となりました。本交流会は、児童・生徒の見守り活動を通じ、『安全・安心なまちづくり』に寄与することを目的としているそうです。

当日は、小山田市長様と半澤警察署長様も駆け付けてくださり、子供たちへ挨拶の言葉や登下校の安全についての言葉を掛けてくださいました。

